

かがわけんりつとしょかん じどうしりょうてん
香川県立図書館 児童資料展



せかい 世界の子どもたちのために

こくさい しょうじゅしょうしゃさくひんてん
～国際アンデルセン賞 受賞者作品展～

き かん
期間: 2019年4月23日(火)～6月2日(日)

ば しょ かがわけんりつとしょかん かいえつらんしつ てんじ
場所: 香川県立図書館 1階閲覧室 展示コーナー

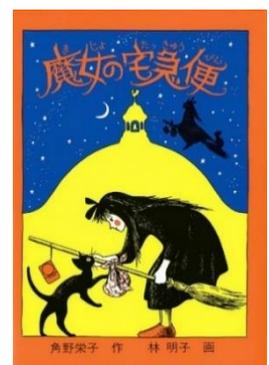
2018年3月、「魔女の宅急便」や「小さなおぼけ」シリーズで知られる角野栄子さんが、国際アンデルセン賞作家賞を受賞しました。

国際アンデルセン賞は、国際児童図書評議会 (IBBY) によってつくられた、国際的な児童文学賞で、「小さなノーベル賞」とも呼ばれています。2年に1回、長く子どもの本に貢献してきた作家、画家に対して贈られており、子どものために書くこと描くことや、翻訳をうながし、世界中にすぐれた子どもの本をいきわたらせることを目的としています。

第二次世界大戦のあと、もう二度と戦争が起こらないように、子どもの本を通しての国際理解を願って、IBBYはつくられました。国際アンデルセン賞は、平和への思いから生まれた賞なのです。

この展示では、角野栄子さんをはじめとする、国際アンデルセン賞を受賞した作家・画家の作品を紹介します。すばらしい本の数々を、どうぞご覧ください。

じどうしりょう せかい しょうじゅしょう
※児童資料コーナーでは、国際アンデルセン賞を受賞した
作家・画家の本を貸出しできます。



まじょ たつきゅうびん
『魔女の宅急便』
かどのえいこ はやしあきこ
角野栄子／作、林明子／画
ふくいんかんしよてん
福音館書店

